

2014年9月16日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

全国小企業月次動向調査(2014年8月実績、9月見通し)

[概況] 小企業の売上 DI は、マイナス幅が拡大

～9月はマイナス幅が縮小する見通し～

1 売上

2014年8月の売上 DI(全業種計、季節調整値)は、7月(▲13.7)からマイナス幅が4.6ポイント拡大し、▲18.3となった。9月は、▲7.1とマイナス幅が縮小する見通しとなっている。業種別にみると、製造業はマイナス幅が縮小(▲11.4→▲10.9)した一方、非製造業はマイナス幅が拡大(▲14.2→▲19.3)した。

2 採算

2014年8月の採算 DI は、7月(▲5.9)からマイナス幅が0.5ポイント縮小し、▲5.4となった。9月は、1.0とプラスに転じる見通しとなっている。

3 雇用

従業員過不足 DI は13.9となり、1年前(8.6)と比べて5.3ポイント上昇した。今後(年度内)の採用予定については、27.9%の企業が「ある」と回答している。

＜調査の要領＞	調査時点	2014年9月1日～3日
	調査対象	当公庫取引先 1,500企業(調査対象の企業規模は裏面のとおり)
	有効回答企業数	1,127企業
	回答率	75.1%

＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:桑本、清野)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

調査対象の企業規模

製 造 業（従業者 20 人未満）

卸 売 業（ 同 10 人未満）

小 売 業（ 同 10 人未満）

飲 食 店（ 同 10 人未満）

サービス業（ 同 20 人未満）

建 設 業（ 同 20 人未満）

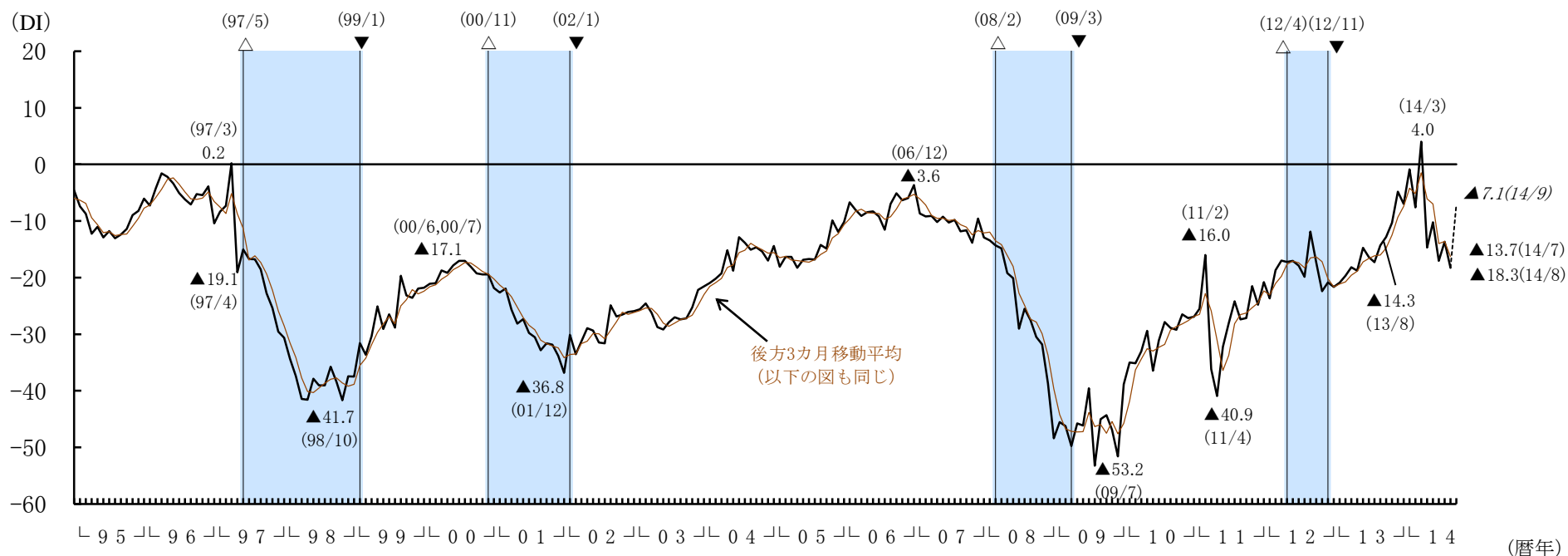
運 輸 業（ 同 20 人未満）

1 売上

- 8月の売上DIは、7月からマイナス幅が4.6ポイント拡大し、▲18.3となった。9月は、▲7.1とマイナス幅が縮小する見通しとなっている。
- 業種別にみると、製造業はマイナス幅が縮小(▲11.4→▲10.9)した一方、非製造業はマイナス幅が拡大(▲14.2→▲19.3)した。9月は、製造業では▲3.6、非製造業では▲7.7と、ともにマイナス幅が縮小する見通しとなっている。
- 非製造業では、サービス業と運輸業でマイナス幅が大幅に拡大した。9月は、全ての業種でマイナス幅が縮小する見通しとなっている。

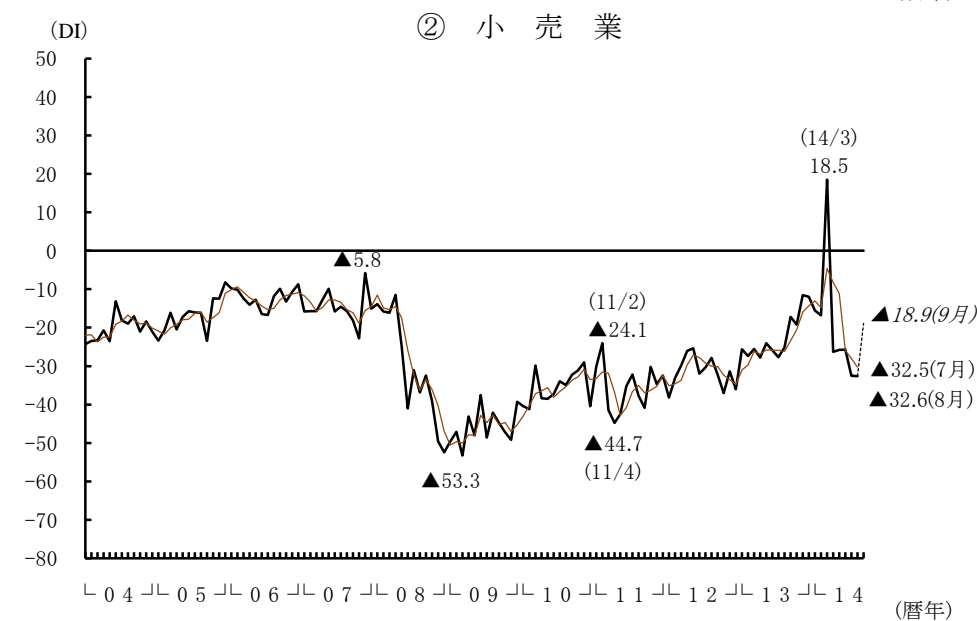
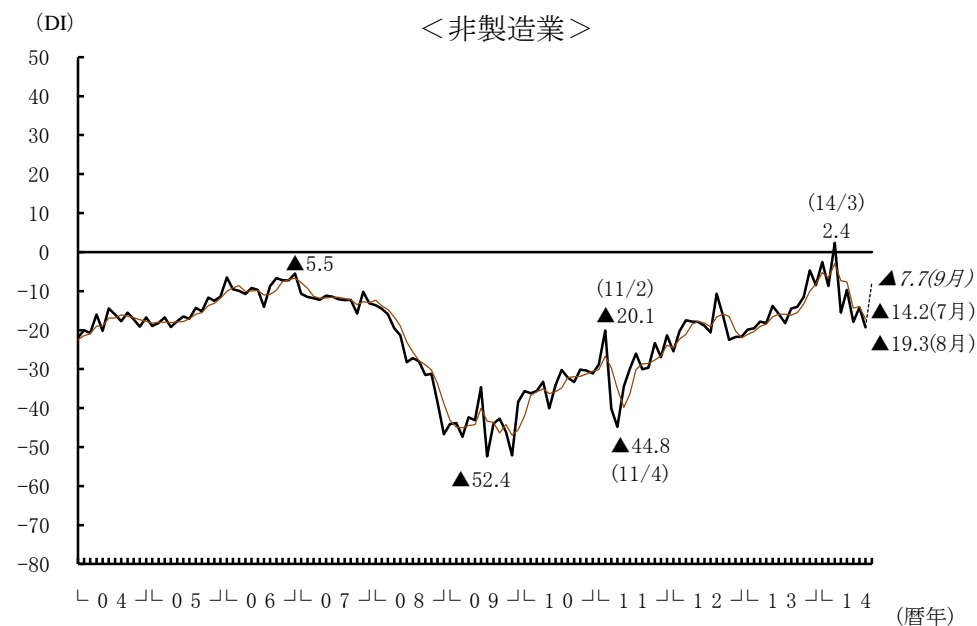
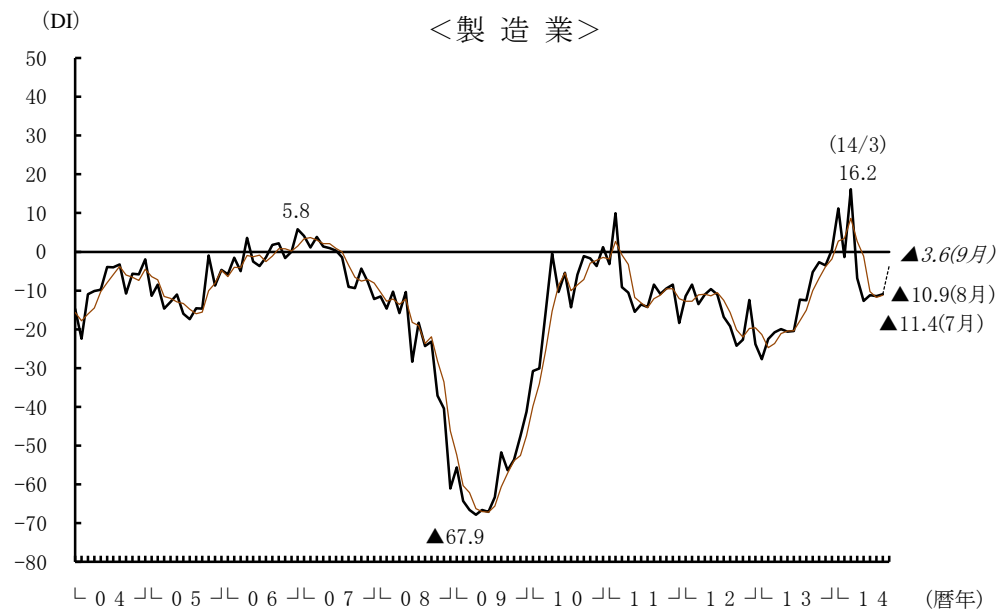
図－1 売上DIの推移（全業種計、季節調整値）

	2013/8月	9月	10月	11月	12月	2014/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	▲ 14.3	▲ 12.8	▲ 10.3	▲ 4.8	▲ 7.0	▲ 0.9	▲ 7.6	4.0	▲ 14.7	▲ 10.2	▲ 17.0	▲ 13.7	▲ 18.3	-
見通し	▲ 12.5	▲ 11.1	▲ 8.4	▲ 3.9	▲ 2.5	▲ 4.1	0.9	▲ 1.6	▲ 26.4	▲ 15.6	▲ 5.9	▲ 15.0	▲ 13.2	▲ 7.1



- (注) 1 DIは前年同月比で「増加」企業割合－「減少」企業割合。
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示す。△は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す（以下同じ）。

図－2 業種別売上DIの推移（季節調整値）



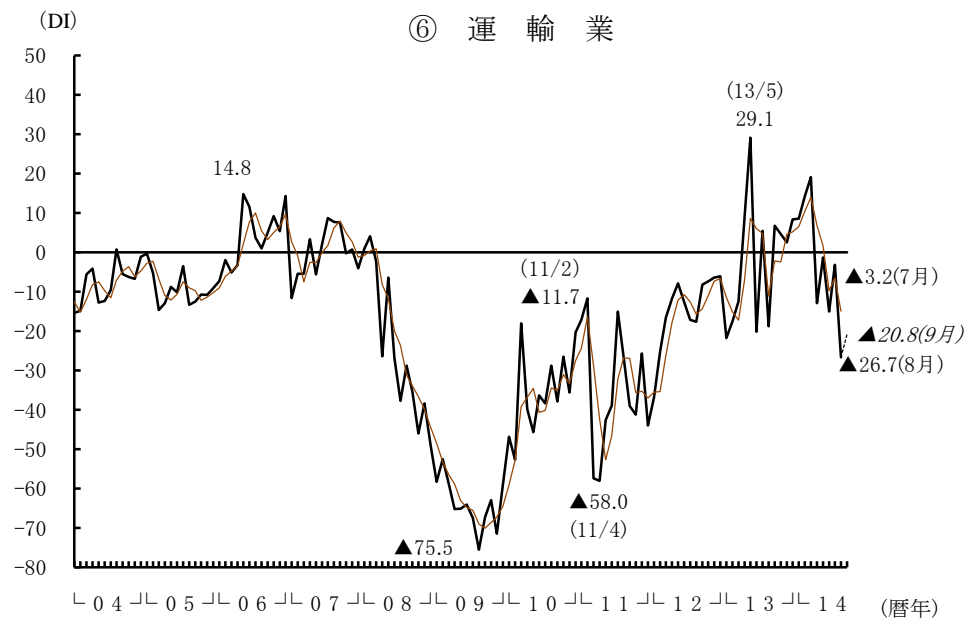
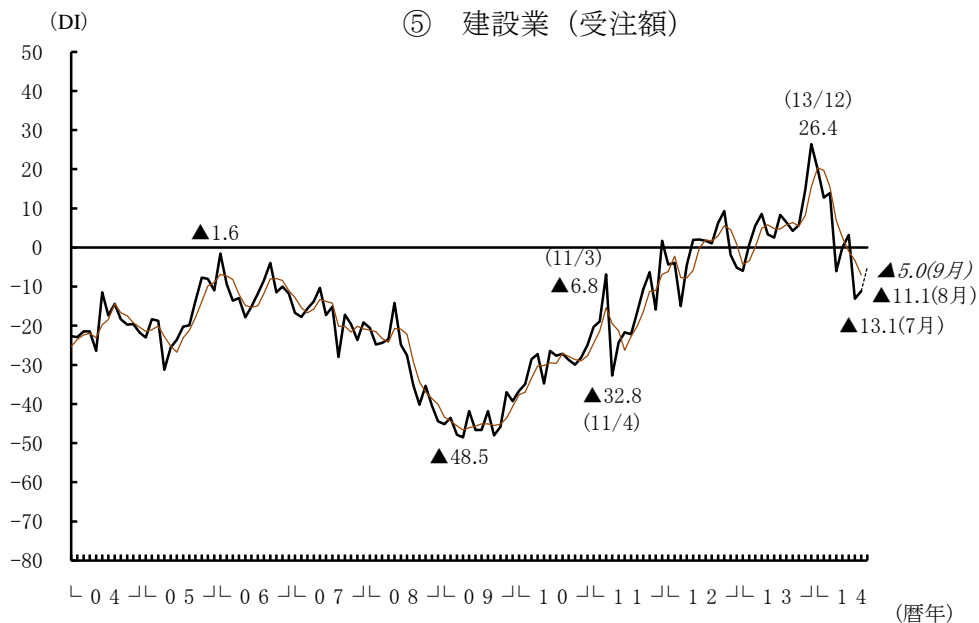
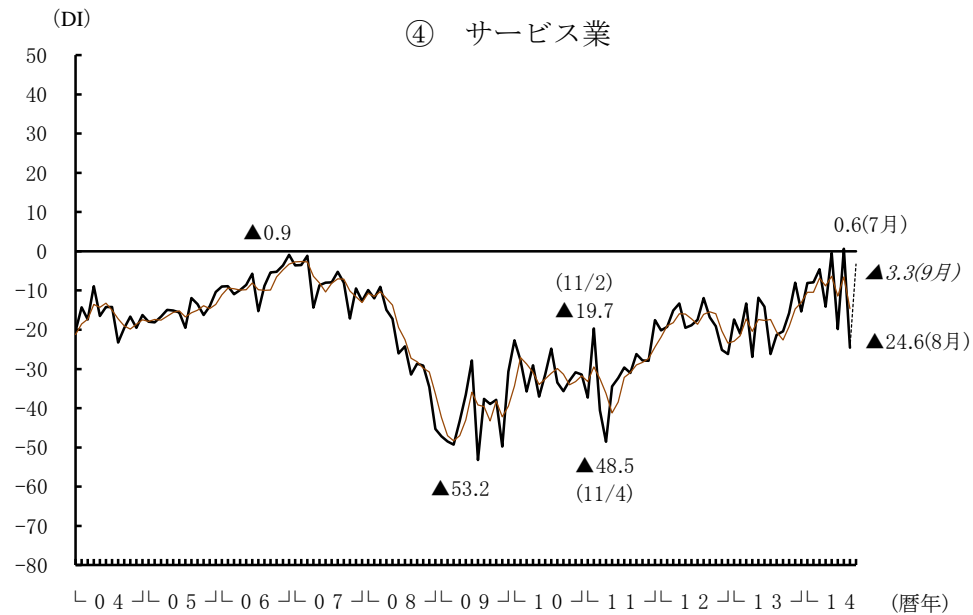
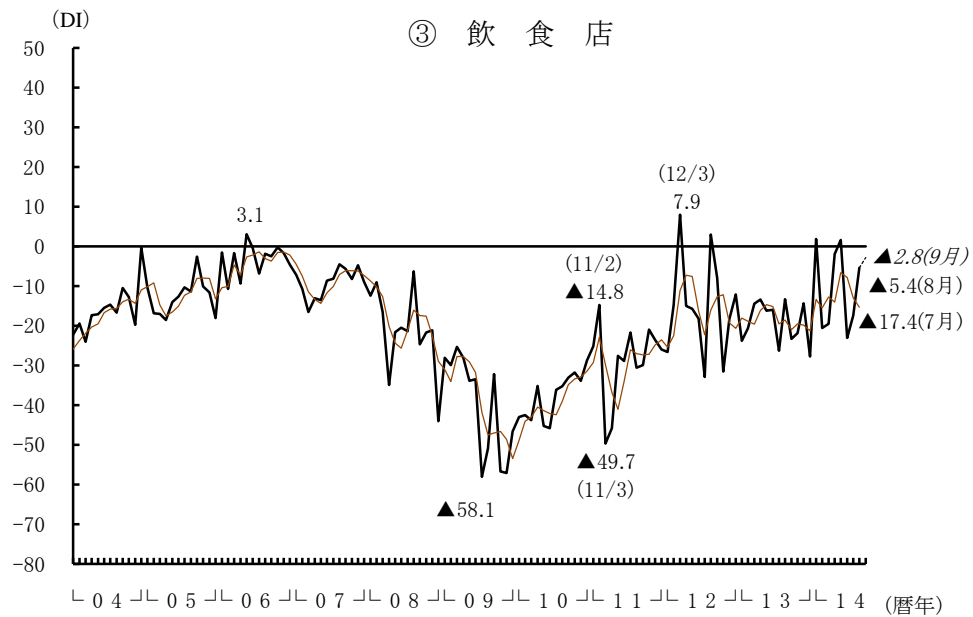


表 業種別売上DIの推移（季節調整値）

（見通し）

	2013年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2014年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
製造業	▲19.9	▲20.6	▲20.5	▲12.3	▲12.5	▲5.3	▲2.7	▲3.5	0.6	11.2	▲1.4	16.2	▲6.8	▲12.7	▲11.2	▲11.4	▲10.9	▲3.6	製造業
金属・機械	▲28.5	▲21.4	▲25.3	▲12.0	▲8.5	5.2	11.6	▲5.1	17.6	30.5	15.6	24.7	11.3	▲5.9	4.8	4.4	▲10.2	7.9	金属・機械
その他製造	▲12.4	▲21.7	▲15.2	▲9.2	▲14.7	▲13.5	▲13.1	▲11.6	▲8.7	▲7.2	▲14.2	7.8	▲21.4	▲19.9	▲23.3	▲21.4	▲10.4	▲9.1	その他製造
非製造業	▲18.2	▲13.8	▲15.9	▲18.2	▲14.4	▲14.0	▲11.5	▲4.7	▲8.4	▲2.6	▲8.7	2.4	▲15.5	▲9.7	▲17.9	▲14.2	▲19.3	▲7.7	非製造業
①卸売業	▲1.2	▲9.2	▲25.1	▲7.9	▲6.5	4.5	18.2	13.0	11.7	13.0	10.5	44.2	▲14.5	▲25.1	▲14.1	▲18.9	▲17.8	▲0.8	①卸売業
繊維・衣・食	▲10.3	▲7.6	▲30.6	▲20.6	▲16.1	▲19.9	▲8.2	▲13.1	▲2.8	6.0	7.9	24.8	▲27.1	▲25.9	▲5.7	▲28.9	▲22.0	18.7	繊維・衣・食
機械・建材	▲8.1	▲8.3	▲22.2	1.9	4.7	21.5	31.1	31.6	23.5	17.9	16.8	53.8	▲19.9	▲22.8	▲19.8	▲10.8	▲9.9	▲13.2	機械・建材
②小売業	▲27.8	▲24.0	▲25.9	▲27.7	▲25.1	▲17.2	▲19.2	▲11.6	▲12.0	▲15.6	▲16.8	18.5	▲26.2	▲25.8	▲25.7	▲32.5	▲32.6	▲18.9	②小売業
耐久消費財	▲11.9	▲2.1	▲8.5	▲7.0	▲3.4	▲6.1	0.9	6.7	4.3	▲11.6	12.5	49.4	▲45.8	▲37.3	▲35.5	▲17.1	▲30.9	▲19.5	耐久消費財
非耐久消費財	▲32.1	▲29.0	▲30.4	▲31.4	▲30.0	▲19.4	▲21.4	▲15.6	▲14.9	▲18.2	▲23.6	10.3	▲22.7	▲23.2	▲24.2	▲35.0	▲32.8	▲18.9	非耐久消費財
③飲食店	▲13.4	▲16.2	▲16.0	▲26.3	▲13.3	▲23.3	▲21.9	▲14.4	▲27.7	1.9	▲20.6	▲19.5	▲2.0	1.6	▲23.1	▲17.4	▲5.4	▲2.8	③飲食店
④サービス業	▲26.9	▲11.9	▲14.1	▲26.2	▲21.3	▲20.4	▲15.8	▲8.0	▲15.3	▲8.1	▲7.9	▲4.5	▲14.1	▲0.4	▲19.8	0.6	▲24.6	▲3.3	④サービス業
事業所向け	▲8.4	▲12.4	▲14.8	4.6	▲11.9	▲7.1	0.1	5.1	6.4	7.3	1.5	6.0	▲10.3	▲1.4	▲0.6	▲23.7	▲8.0	▲9.7	事業所向け
個人向け	▲29.7	▲8.4	▲14.1	▲38.7	▲24.1	▲24.6	▲20.8	▲13.8	▲22.6	▲13.5	▲12.1	▲8.5	▲12.0	3.3	▲25.9	5.9	▲29.7	▲1.6	個人向け
⑤建設業	8.6	3.3	2.5	8.4	6.5	4.3	5.7	14.6	26.4	19.9	12.7	13.9	▲6.1	0.0	3.2	▲13.1	▲11.1	▲5.0	⑤建設業
⑥運輸業	9.1	29.1	▲20.2	5.5	▲18.8	6.7	4.6	2.5	8.4	8.5	14.3	19.1	▲13.0	▲1.3	▲15.0	▲3.2	▲26.7	▲20.8	⑥運輸業
道路貨物	11.1	37.0	▲22.3	11.5	▲22.1	12.1	5.6	3.2	9.6	11.6	16.2	31.4	▲12.3	▲4.4	▲20.0	▲2.9	▲30.3	▲18.0	道路貨物
個人タクシー	6.1	▲10.3	▲13.6	▲6.8	▲15.5	▲13.2	▲0.2	5.9	8.9	1.7	▲14.4	▲9.9	▲11.9	0.3	2.0	5.4	▲22.9	▲25.1	個人タクシー
全業種計	▲18.8	▲14.7	▲16.4	▲17.3	▲14.3	▲12.8	▲10.3	▲4.8	▲7.0	▲0.9	▲7.6	4.0	▲14.7	▲10.2	▲17.0	▲13.7	▲18.3	▲7.1	全業種計

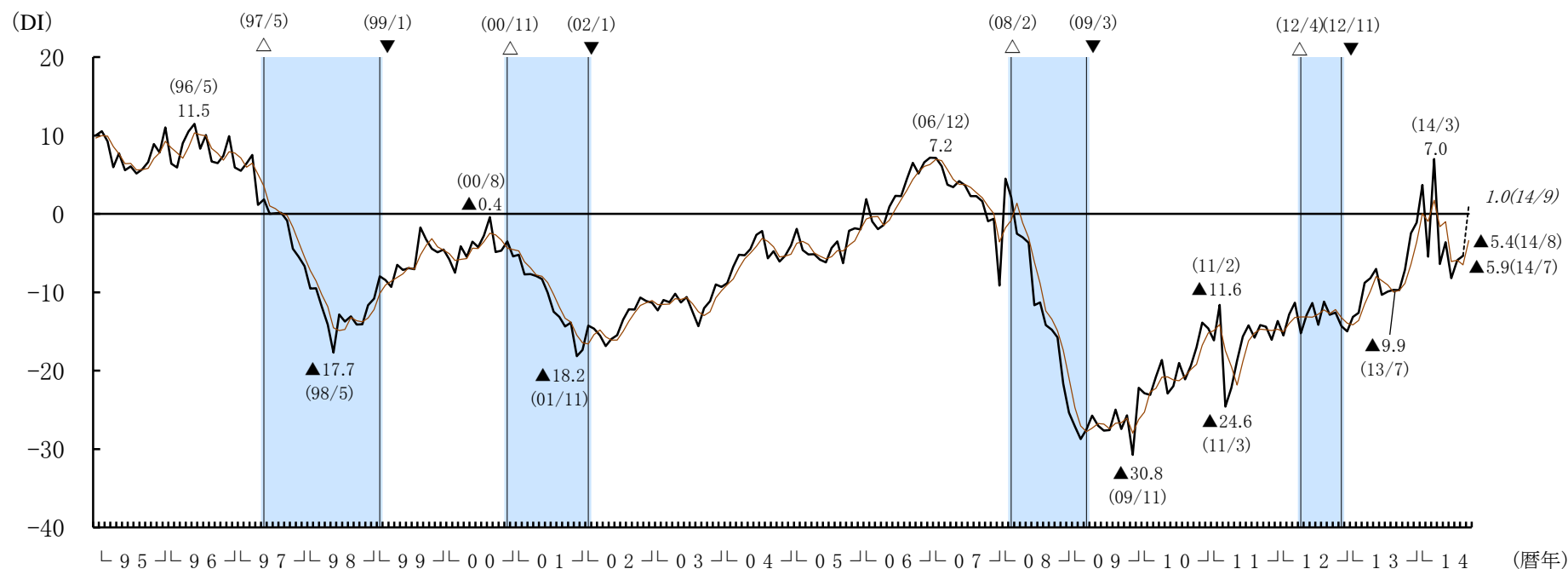
- (注) 1 網掛けは、前月から低下した数値。
 2 斜体は見通しの値。
 3 季節調整は業種ごとに行っている。

2 採算

- 8月の採算DIは、7月からマイナス幅が0.5ポイント縮小し、▲5.4となった。
- 9月の採算DIは、1.0とプラスに転じる見通しとなっている。

図－3 採算DIの推移（全業種計、季節調整値）

	2013/8月	9月	10月	11月	12月	2014/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	▲9.7	▲9.7	▲7.1	▲2.5	▲1.1	3.7	▲5.5	7.0	▲6.4	▲3.6	▲8.2	▲5.9	▲5.4	-
見通し	▲3.5	▲4.9	▲4.0	0.9	1.6	1.3	6.8	1.1	▲13.2	▲3.5	0.0	▲6.3	▲3.3	1.0

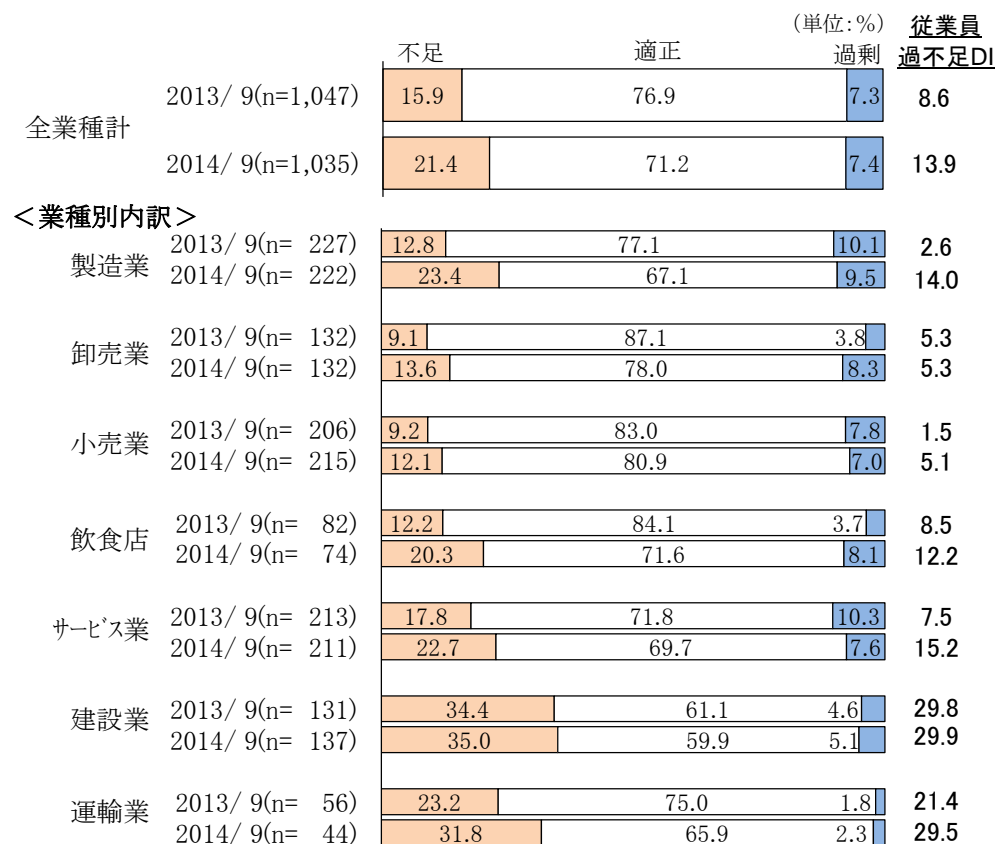


(注) DIは「黒字」企業割合－「赤字」企業割合。

3 雇 用

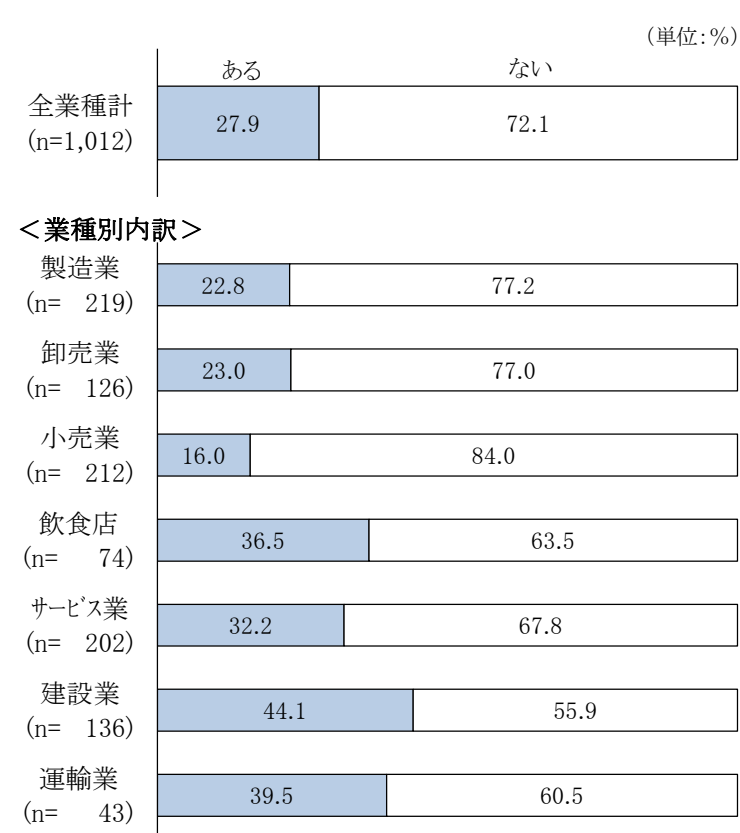
- 従業員過不足DIは13.9となり、1年前と比べて5.3ポイント上昇している。業種別にみると、建設業が29.9と最も高く、次いで運輸業（29.5）、サービス業（15.2）の順となっている。
- 今後（年度内）の採用予定を尋ねたところ、「ある」と回答した企業は27.9%となっている。業種別にみると、建設業（44.1）や運輸業（39.5）、飲食店（36.5）、サービス業（32.2）で、3割以上の企業が採用予定が「ある」と回答している。

図－4 従業員の過不足状況



- (注) 1 このところ（3カ月程度）の仕事量からみた従業員数の過不足を尋ねたもの。
 2 従業員過不足DIは、「不足」企業割合－「過剰」企業割合。
 3 回答割合は四捨五入をして表記をしているため、合計が100にならない場合がある（以下同じ）。

図－5 今後（年度内）の採用予定



- (注) 1 パート、アルバイトを含む。今年度に既に採用している分は含まない。
 2 2014年9月～2015年3月までの採用予定を尋ねたもの。今年度に既に採用している分は含まない。